

2019 年市民ネットワーク・春の活動報告

北海道胆振東部地震の経験に学ぶ ～全ての被災者の生活再建に息の長い支援を～

避難所運営に関わった NPO 団体の報告によると、札幌市東区の待避所には自宅損壊や余震の不安から 26 世帯 33 名が残り、その多くはひとり親、生活保護、単身 60 歳以上の世帯でした。被災前から生活に困難を抱えている世帯には、支援が届きにくい実態が浮き彫りになりました。胆振東部 3 町では、見慣れた景観の変ぼう、復旧費用の増加、仮設生活による孤立の状況が長期化しないよう、行政、NPO、専門団体との協働と連携により、個々のコミュニティに配慮した支援がすすめられています。

北広島においても復興に向けた取り組みがすすんでいます、被災状況は様々です。個々の生活の再建まで伴走する支援体制で取り組んでいかななくてはなりません。



▲シンポジウムに参加した、佐々木ゆりかと鶴谷さとみ。(5/25 北大学術交流会館)



チェルノブイリデー市民集会 4/26

— いらぬ原発！変えようエネルギー政策 —

大通公園で開かれた集会に参加。幌延の深地層研究センターでのケーブル火災の現地報告や、原発事故が子どもたちに与えた苦しみが語られました。福島原発事故から 8 年、「原発のない社会」をめざす思いを新たにしました。

きたひろプレーパーク 5/19

5 月第 3 週の日曜日、緑葉公園でのプレーパークに参加。天気もよく、子どもも、おともも泥遊びやロープで作ったブランコ、たこあげなど、のびのびと遊びました。市民ネットワークでは、子どもの権利条例の具現化としてプレーパークを応援していきます。次回は 7/21 (日) 緑葉公園にて開催予定。



- 市民ネットワーク 3 つのルール
- 1 議員は交代制 (ローテーション)
 - 2 議員報酬は市民の活動資金に
 - 3 選挙はカンパとボランティアで

おしゃべりカフェ (議会報告) のご案内

7 月 14 日 (日) 午後 3 時～

会場：生活クラブ館 (美沢 1 丁目 1-2)

会費：100 円 ※直接お越しください



ゆりかのコーヒータイム



★この春、3 期 12 年代理人 (議員) をつとめた田辺ゆう子さんからバトンを受け継ぎました。鶴谷さとみさんと 2 人で、市民ネットワーク北海道の会派を継続することができました。新人議員研修での抱えきれないほどの資料、議場の緊張感など、全てが初めてのことです。わからないことだらけですが、好奇心を大切に「見て・聞いて・やってみよう」という気持ちです。